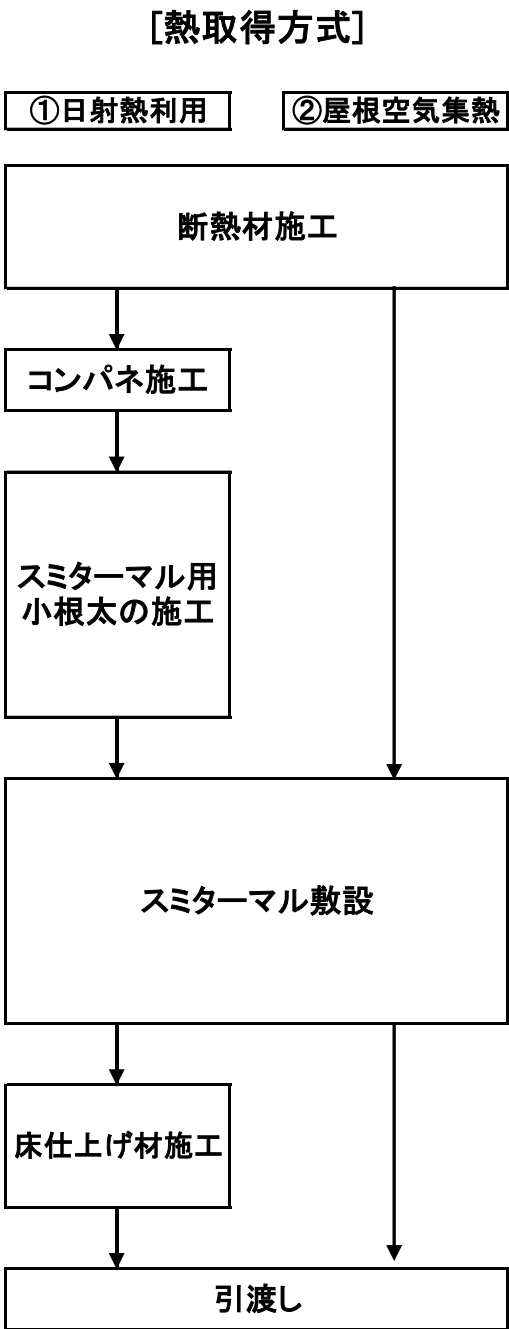


スミターマル【32P9BX・32P15BX・32P20BX・32P25BX】
 設計・施工マニュアル②ー1
 【進入日射熱利用・屋根空気集熱利用】

工事の概要とポイント

[工事フロー]

[工事のポイント]



※敷設場所は床・壁の仕上げ材反室内・床下とする。

・対象室の断熱材はH11年省エネ基準以上の断熱を確保する。
また敷設範囲は、暖房室全体に行う。

・コンパネは厚み12mm以上のものを敷設する。

・スミターマル用小根太
(32P9BX 9mm・32P15BX 15mm・32P20BX 20mm・32P25BX 25mm)
・根太は、含水率17%以下のものを使用する。
(含水率が高いと、暖房使用時に床面トラブルの恐れがあり注意する)

・スミターマルを敷設する場所は、ゴミ・ほこりなどが無いようにきれいに掃除をする。
・スミターマルに釘を打ったり、切断しての敷設は行えません。
※破損の恐れがあるため、脚立など先の尖ったものをスミターマルの上には乗せない。
※スミターマルの敷設は破損を防ぐため、床仕上げ材の施工の寸前に行う。

・床仕上材を使用し、釘・接着剤を併用する。
※スミターマルに釘を打ちこまないように注意する。

・お客様に取扱い方法(敷設箇所には釘打ち不可)等の説明を行う。

※施工図は蓄熱材の配置位置がわかるように必ず作成して下さい。また、施工部位(床・壁・床下)も記載して下さい。

施工方法

1. スミターマルの墨出し

敷設面を清掃すると同時に釘頭の突出しなどが無いかチェックして下さい。

設計図を参照し敷設箇所を確認しながら、墨出しを行って下さい。

※仕上げ材が施工できるように小根太をあらかじめ施工しておく
作業がスムーズに進みます。

2. スミターマルを敷設する

再度、敷設面にゴミ・ほこりがないことを確認しスミターマルを敷設して下さい。

脚立など先の尖ったものをスミターマルの上には乗せないで下さい。

破損の恐れがあります。

3. 仕上げ材の施工

スミターマルに釘を打ちこまないように注意して施工して下さい。